

定部金貳拾五圓  
一月五拾圓  
三月一拾五圓  
半年七圓  
一年三圓  
廣告費  
五字一圓  
十字一圓  
二十字一圓  
三十字一圓  
五十字一圓  
一百字一圓  
二百字一圓  
三百字一圓  
四百字一圓  
五百字一圓  
六百字一圓  
七百字一圓  
八百字一圓  
九百字一圓  
一千字一圓  
電話六三〇番  
發行所 常警毎日印刷所  
電話六三〇番

刊一 發行兼編輯人 川崎文治  
印刷所 常警毎日印刷所  
本社内(電話六三〇番)  
印刷所 常警毎日印刷所

刊夕日六月五

### 常警毎日新聞

#### 緊縮とラヂオ

仙台放送局常務理事 佐藤晋一  
當局に於ける聴取加入者は大方の理解と援助とに依つて、漸次其の数を増しつゝ、あるの状況であります。又一方様々な理由に依つて聴取を廢止せらるゝ向も少くありません。其の原因は種々雑多でありまして、之を分類して述べますことは煩雜を來すのみであります。から差控へますが、此等廢止原因の中に「緊縮に依り」と記載されて居るのを見ることがあります。申すまでもなく放縦な生活は何れの時代に於ても避くべきであります。自らを知るの生活將來に基礎を置く生活、無

經濟生活から見れば相反するの觀もありませうが、凡て物事は程度問題であります。ラヂオの實用化は近時一般に認識されて参りました事は申すまでもありません。日用品の値段、天氣豫報などの吾々の日常生活と如何なる關係を有するかは今更喋々の費のない事と存じます。名士の講演學者の講座が吾々の智能を啓發する上に於て如何に有益であるかと云ふ事も周知の事實であります。

### 常警文藝

#### 蝶と花

蝶々が  
白いちいさな  
花にきて  
白いみつをは  
すうてつた、  
やがて  
その花  
白ひ花  
ひとり寂しく  
ちつたとき  
白いちいさな  
その蝶々  
ひとり悲しく  
きて泣いた  
かなしく  
泣きました。

磐城炭礦 最優等炭

- ◎石炭 正味十貫目 一俵 金六十錢
- ◎東京瓦斯コークス一等品 一俵 金一圓二十錢
- ◎コークス 本炭代用、無煙無臭、家庭用炭
- ◎玉炭 一箱 金貳圓也

石炭は目方の正確を期する爲め正味な貫目を一俵の標準と定めました

◎配達迅速 (電話二三七番)

磐城炭礦販賣總代理店

## 阿部石炭商店

## 高久病院

院長 醫學士 高久清  
副院長 新潟醫學士 赤羽雄  
藥局長 藥劑師 佐竹菊忠

平町田町 電話五二三番

内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科

## 住友生命

確實 親切 友生 命

花は櫻保險は住友  
愛しき妻子の爲めに  
老後を樂しむ爲めに  
子女の教育結婚の爲めに  
事業資金の爲めに

經營者ノ確實ナル信用有ル全ク  
契約者本位ナル保險料ノ最モ安  
イ住友生命へ御ス、メ致シマス

住友生命保險株式會社  
平事務所 福島 寛利  
平代理店 金成泉一郎  
平町材木町 電話七〇四番

## 帽子!!

皆様の御氣に召す  
モダンな型  
スマー卜な色合

## 中鳥子 折り打帽

可愛らしいお子様方のために  
明るい初夏の帽子

平町四丁目

## ツルヤ

電話一四〇番

## 藤沼醫院

入院需應

平町紺屋町 電話四七〇番

内科、小兒科、花柳病科

## 川井内科診療所

電話七二二番

醫學士 川井重之  
女醫 川井安子

### 平第一校……

## 遂に二ヶ年連勝

### 磐中の八百リレーに

既報平町縣立磐城中學創立三十五周年記念祝賀式は五日午前八時から盛大に舉行同八時半から記念陸上競技大會を催したが郡下小學校優勝旗争奪八百メートルリレー競走は平第一校が第一豫選から断然リードして遂に二ヶ年連勝した

一等平タイム二分九秒三  
二等草野、三等神谷、四等内郷第三

## 教授に關し

### 講演を聴く

石城郡内小學校校長會議は來る廿四日午前九時より平町第一小學校講堂に於て開催されるが尙翌二十五日は郡教育部會員を召集、東京高等師範附屬主事佐々木秀一氏の教授上に關する講演ある由

## 第二區校長會

### 事業計劃協議

石城第三區平第一小學校外十五ヶ町村小學校長會は來る七日午前十時より平第二校に於て本年度事業計劃等を協議する由

## 自動車

### 崖から墜落

#### 重傷者數名

湯本町驛前高岡自動車運轉手吉田貫一(三)は同町小野

名の従業員があり不穩の形勢はない

## 中堅農民講習

石城中堅農民養成講習會の發會式は本日午前十時より石城郡農會事務所に於て舉行されたが講習生は七十餘名で本月の現地講習は十三日草野村高木清治氏の農業經營見學、二十四日神谷村農事試験分場にて農業に關する稻田技師の講演を聞く事に決定した

## 現金を盗む

### 餘罪ある見込

平町字新川町木内房吉(三)は四日午後三時頃石城郡内

## 十錢陶器の……

### 色模様有毒鉛

縣衛生課で検査の結果 平町一丁目十錢陶器屋森田一方から去る十日平署で陶器皿の色模様が有毒鉛を含有してゐるのを發見直ちに縣衛生課へ送致したので衛生課で検査の結果全く有毒のものとなつた

## 約六割制限

### 四倉セメント

石城郡四倉町磐城セメント工場不況のため昨年冬三十餘名の減首を行ひ各方面から注目されてゐたが今回更に従業員一人當り休日從來一ヶ月四、五日のところ四月から増加して十六日として約六割の生産制限を行ひその代り減首を行はず何れも日給の三割宛を支給して難役夫に使用することに決定五日縣特高課に報告した現在同上場には三百四十八

## 定員通り

### 顔ぶれ決定

石城郡小名濱に於ける家調委員は定員九名の中候補者は大體左の如く決定した

(政友)小野務平、立花雄七、岡山繁喜、松本徳次郎、野崎正太郎、小野晋平(民政)馬上政二、國井忠太、小野豊十

## 豊間校新築

### 總二階建て

石城郡豊間村では工費一萬五千五百圓を以て五間一尺に廿四間の總二階建和洋折衷の校舍一棟を増築中であつたが大體の工事が出来たので來る五六日頃盛大な竣工式を擧ぐべく目下準備中だが學校に於ては此の機会に於て教育品展覽會を開き教育刷の資料たらしむべく計劃を進めてゐる

## 兎の耳

西太后の宮殿に  
かしや札 飛ぶ  
鳥も落す程の勢  
威を振つた西太  
后の夏の宮殿……清末宮廷史の有力な材料を提供する豪華な宮殿に「かしや札」が張られた貨郎夏の宮殿内周圍眺望絶佳丘に「軒湖」畔にも若干そのまゝ居住差支へなし、希望者は北平市政府に申込みを請ふ西太后は四十餘年間攝政として實權を振つたが夏の宮殿は特に彼女が得意の鼻をうごめかした建築物である

## 醫學博士の

### 醫學博士の

磐城中學では今回また第十回卒業生で愛知醫大齊藤外科教室の名古屋市中區御器町字北山諸橋鐵彌氏(三)が八木澤博士の推薦で三日論文が教授會を通過し醫學博士の學位を授與さるゝ事となつた諸橋氏の主論文は「ウラニン」注入による腦脊髄液の吸收及び環流に關する臨床的並に實驗的研究である

## 監督官が來平

磐城中學校並に磐城高等女學校視察の爲め文部省稻葉督學官は四日來平兩校視察

## 平局電話加入者の

### 約三割が通話停止

再三督促しても納入しない平局では去る二十日電話加入者六百七十二名に對し第一期分電話料を三十日迄に納入する様通知を發したが完納したものは僅か五割弱の三百五十名で再三の督促により一日並に二日まで納入した者を合してもやつと四百五十名内外に過ぎず残り二百二十餘名は通話を停止された之も財界不況の爲めでかゝる不成績は平局始まつて以來の事であると

## 常磐片々

赤十字社大會で東京した伏見町長上野驛前の山下館に滞在しながら夜更に着かふとすると女中の曰く

「お休みななる時は戸締りをして下さい、東京は由舎と違ひますから……」

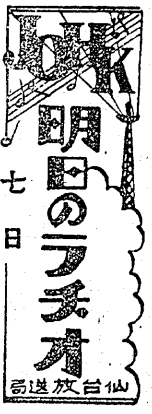
町長「東京は田舎と違ふ」がグツと癪にさはり「坐邪氣」な、東京と田舎が違ふ位への事はオメエが云はる

「んだからよ、オメエ一度平さ來て見ろ、物騒な事は東京にだつて負けオメエぞ」

我が善良なる伏見町長はとうとう「物騒さ」を迄お國自慢に擧げちまつたのである

品名	量目	價格
白米	一キロ	二〇〇
白米	一キロ	一九五
白米	一キロ	一九〇
白米	一キロ	一八五
白米	一キロ	一八〇
白米	一キロ	一七五
白米	一キロ	一七〇
白米	一キロ	一六五
白米	一キロ	一六〇
白米	一キロ	一五五
白米	一キロ	一五〇
白米	一キロ	一四五
白米	一キロ	一四〇
白米	一キロ	一三五
白米	一キロ	一三〇
白米	一キロ	一二五
白米	一キロ	一二〇
白米	一キロ	一一五
白米	一キロ	一一〇
白米	一キロ	一〇五
白米	一キロ	一〇〇
白米	一キロ	九五
白米	一キロ	九〇
白米	一キロ	八五
白米	一キロ	八〇
白米	一キロ	七五
白米	一キロ	七〇
白米	一キロ	六五
白米	一キロ	六〇
白米	一キロ	五五
白米	一キロ	五〇
白米	一キロ	四五
白米	一キロ	四〇
白米	一キロ	三五
白米	一キロ	三〇
白米	一キロ	二五
白米	一キロ	二〇
白米	一キロ	一五
白米	一キロ	一〇
白米	一キロ	〇五
白米	一キロ	〇〇

御用命通り一頁も



報豫氣天 今晩は北東の風... 明日は晴り曇り

- △前六・三〇 ラヂオ體操
△前九・三〇 日用品値段
△前九・四〇 料理献立
△前九・四〇 米谷ハツ子發表
△前一〇・〇〇 商業講座
「第四講販賣との知識」仙台商業學校長 嶋川行道
△前一〇・二〇 經濟市況
△正午 時報
△後八・〇五 俚語一安來
「(唱)濱田梅吉、茂住菊野、同渡邊豊子(三味線) 秋月大丸、松本庫吉(鳴物)浪川好風」
△後八・三五 ニュース
氣象通報 經濟市況
△後二・三五 經濟市況
△後四・三〇 ニュース
△後四・四〇 經濟市況
△後六・〇〇 子供の時局
お話し「青葉の頃」小林茂男
△後六・三〇 英語講座
「初等科(一)」岡倉由三郎
△後七・二五 越味講演
「古老夜話の一番の思出」黒田長清(八十五才)
△後八・〇〇 連續講談
「浪花三兄弟第一席」神田山陽
△後八・三〇 小唄「一、雲にかけ橋」「二、群鳥」「三、西行さん」「四、ふらり」「五、與作」「六、五月雨の空に」(唱)堀小満孝(三味線)堀廣
△後八・五〇 脚本朗讀
「源八の渡」濱村米藏作、かもめ座、陽島信一朗、他八名、効果望月春之助
解説並放送指揮濱村米藏
△後九・四〇 時報 氣象通報 プログラム豫告

脚本朗讀「源八の渡」

かもめ座連中

淀川の堤に源八の渡しがあつた。流れが早いので舟で上る工夫をしたものには褒美は望み次第といふ領主からのお布れが出てゐた。この渡小屋に茂次兵衛といふ渡し守があつた。花満憲法の家臣の神道源八の舅であつた。源九が故主のために御朱印を詮議してゐるので源八に連れ添はせてある娘のお舟も廓へ身を沈めて共々に苦勞してゐた。しかし苦勞は續いた、今日も茂次兵衛は金貸しの權之作からかねての借金の催促をされ

て困つてゐた、そこへ廓へゐる其の娘のお舟がきて、その金を返してやつた、久しぶりの會合に父と娘は楽しく語りつゞけてゐた。すると飛脚が一封の手紙をもつてきた、不思議なことにはお舟からである、かねて尋ねてゐた御朱印を敵の關口平太が持つてゐることが解つたので、身を犠牲にして密書を手に入れて送つてきたのである。さうしてお舟は自害してしまつたのである、それが送り届けられた書置で解つた。茂次兵衛

安來節

唄 濱田梅吉
同 茂住菊野
同 渡邊豊子
三味線 秋月大丸
同 松本庫吉
鳴物 浪川好風
豊子

安來「思ひ思はれ思はれ思ひ添へりやみさをのたてくらべ」
安來「竹になりたや七九八九の、蛇の目の傘下六ろの竹に、かわいトイチャンとばらりと、ひろげて合傘さしてな、古宿通ひの程のよさ」
安來「まんじ巴と降る雪中を博多身にあま合羽まんじゆ笠、顔も赤垣源藏が酔ふたきげんの千鳥足兄の屋敷に暇乞ひ」
字アマリ「いつそ今宵の討人をものが足らんと思へども」
米山「云ふに云はれぬ胸のうち」
安來「名残つきせぬ一生別れの酒徳利」

古老夜話の昔の思出

黒田長清 八十五才

舊藩時代交通機關の今昔より他藩との出入狀無藩主や武家連の物見遊山の模様、稻ヶ岡釋迦堂の由来、鹽釜が其當時の唯一の遊び場所であつたこと、仙台町名人の大津繪外一種等を奮いおもひでをたどつて述べてみます。
「谷川の水」
安來「さすらいの旅を重ねてわしや安來より
小原「おせやおせ」二下橋

でおせや、おせばえぞ地へ小原近くなる」
「幾夜寝ざめの海原越えて花の松前紅葉の江差おしろ高輪忍ぶ戀路に泣きあかす」
追分追分三十五反の帆を巻きあげてね、えぞ地はなれりや佐渡ヶ島」
「けさ」佐渡のおけさに逢うかされてよ、磯の若根で夢むすぶ」
安來「お島お島や出雲崎、これほご帆かけて来たけれど便りと思ふ人もなし、力とたのむはほんに、四方のお客様」

「筍のうま煮」

米谷ハツ子發表
材料五人前、筍(百五十匁から二百匁位のもの)一本、砂糖大匙一杯、木の芽少々、煮出汁二合、醬油五勺、
▽調理法、筍は皮のま、根を切り縦に二つ割にして、被る位の水と米糠大匙一杯入れて三十分茹でます、箸が通る何になりましたら水にだして一度に皮をむいて水に三十分より一時間位つけこれを一口に召し上れる何の大きさに切り煮出汁二合に砂糖を加へ筍を入れ煮出汁が半分になる迄煮ます。そこで醬油五勺を加へて今度は煮汁がなくなる迄煮て若し味加減が薄い様でしたら醬油を一寸さして煮上げます出来上りましたら木の芽を一寸のせて供します

創業廣告

今般時代の趨勢に鑑み合資會社高橋商會を創業いたし左記營業種目に依り親切第一主義を以て營業致す事と相成り候間何卒御利用御用の命御程願申上候

營業種目 燃料、木材、金融、仲立

合資會社 高橋商會

代表者 高橋龜松



鑿城セメント會社特約店
鑿城中町五丁目 電話九番 一三九番
▽良品廉賣し勝る商畧なし△
▽確實敏捷は釜屋の生命なり△


内臟外科 醫學博士 藤本 順
整形外科
婦人科 院長 木村寅次郎

木村病院

セメント  
壁用材料  
コールタール  
ペンキ塗料  
板ガラス

磐城セメント株式會社  
代理店 **西村屋藥舖**  
平町二丁目(電三)

**國產精工舎製**  
腕時計セイコー  
提時計エンバイヤ  
景品總額十二萬圓  
平町五丁目  
特約店 **金光堂時計店**  
電話七三六番



**春**の逸品!! 何卒御用命を  
今年流行の  
**パラソル**  
色々取揃へました

女 生 服  
帽子・沓 下  
メ リ ヤ ス  
ネ ク タ イ  
フ イ シ ャ ツ

5 丁 目  
**モリタヤ** 洋 品 店  
電話 3 5 3 番

**耳鼻咽喉科専門**  
氣管食道科  
平町南町(舊診療所向)電話一七〇番  
**大和田醫院**

**玩具問屋**  
**金森下商店**  
平町一丁目  
電話八百六十番

種々體温計  
寒暖計  
電山〇番

カ、ミ  
**ガラス**

和家具金具  
共濟病院前南町  
**吉村硝子店**

全時  
商標  
**遠藤**  
喫茶部新設

内羅專門妙藥  
**愛馬散**  
小野屋藥店



使用した其の日からス  
グキク婦人病自宅療治  
藥、美神丸を未だシラ  
ナイ御方がありますか  
永らく子宮病にて百藥  
の効なく御困りの方、  
處女にてもコシケに惱  
む方は安全にて人に知らるゝ心配もなく治療の目的を  
達します。定價一週間分四十錢 十週間分參圓五十錢  
平町古鍛冶町(縣社ノ下)  
一手 販 賣 部 **阿康藥店**  
無代進呈の方法もあります  
(電話四四四番)

看護婦至急募集 (但し有資格者)  
**吉田眼科病院**  
平紺屋町、電話六八八番

おいしいパン  
衛生的なパン  
滋養多きパン

一斤 16 錢  
1 5 錢

食パン  
ツワム食ム  
パン  
ソッラ  
バミブ甘  
ジャ

目 丁 四 平  
**ヤトモツマ**  
番 四 一 二 話 電

外科專門  
花柳病專門  
**木村外科醫院**  
入院自炊の便あり  
平町五丁目橋際  
電話 三〇九番

移轉廣告  
**外科 性病科**  
×光線科  
平町田町(赤心堂病院跡)  
**安齊外科醫院**  
電話四七五番

静岡、川根  
本場 **新茶** 賣初め申候  
一斤(百六十匁) 金貳圓也  
御電話を戴けば  
一服御届け申ます(電話八一七番)  
**大勝園**  
三丁目(郵便局となり)

慈紹院葬送の際に遠路の處御會  
葬被下殊に御叮嚀なる御香奠を  
賜り誠に難有奉深謝候實は早速  
拜趨御禮可申上の處未だ混雜中  
に付不取敢以紙上御禮申上度如  
斯に御座候 敬具  
昭和五年五月六日  
市原卯太郎  
外親戚一同

廣告よ安買で効果のある本氏印刷用紙